



「陽ざしの会」のあゆみ 30年の歴史を振り返って・・・



1988年	大分で第1回要約筆記奉仕員養成講座開講 「陽ざしの会」結成 大分で要約筆記奉仕員の派遣が始まる	2006年	障害者自立支援法にかかわる要望活動 県議会傍聴に要約筆記派遣開始
1989年	第2回九州要約筆記グループ懇談会を担当	2007年	第4回全難聴九州ブロック福祉大会、大分県難聴者協会創立20周年記念式に協力 厚生労働大臣よりグループ団体として表彰
1990年	派遣費（交通費の一部）が支給され、派遣回数も増える	2008年	第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」を後援 会員は専門ボランティアとして参加
1995年	筆記通訳支援システム導入	2009年	パソコン要約筆記学習会が始まる 第58回全九州ろうあ者大会にて感謝状受賞 第14回全国高年難聴者の集い「長楽の集い」湯布院大会に協力
1996年	第9回九州要約筆記グループ懇談会を担当 平成8年度大分合同新聞福祉賞を受賞	2010年	「すべての聴覚障害者に、情報アクセス・コミュニケーションの権利を保障する法制度の実現を求める要望書」(We Love コミュニケーション)のパンフレット配布と署名活動を実施
1998年	OHC 導入	2011年	第44回全国手話通訳問題研究集会 in 大分に協力 「陽ざしの会」リーフレット作成 要約筆記周知事業講演会「聞こえないと不自由です」を開催
1999年	大分市要約筆記奉仕員派遣事業始まる 二人書き要約筆記研修会を開催 第1回全国パソコン要約筆記指導者養成講座開講	2012年	要約筆記周知事業パネルディスカッション「学びの場の聞こえは大丈夫？」を開催
2000年	パソコン要約筆記研修会を開催	2013年	「要約筆記 利用ガイド」作成を大分県聴覚障害者協会に依頼 講演会の主催、行政・団体・事業所等約200か所に配布
2001年	大分県より福祉保健関係功労賞を受賞	2014年	要約筆記周知事業講演会「パソコン要約筆記技術習得講習会～モバイル機器を使った情報保障～」を開催
2002年	厚生労働大臣感謝状を受賞 大分県災害ボランティアに登録	2015年	要約筆記周知事業講演会「人と世のために～病院を情報バリアフリーに～」を開催
2003年	全要研全国大会、九州大会の情報保障を担当	2016年	要約筆記周知事業講演会「字幕リサーチャー講演会」を開催 第1回 要約筆記ミニ講演会（大分県立由布高等学校）を開催
2005年	第8回全要研九州ブロック研修会実施 障害者自立支援法反対要望書を市町村に提出 災害時対応ミニ訓練実施	2017年	iPad 導入 字幕リサーチャー活動 第2回 要約筆記ミニ講演会（大分県立由布高等学校）を開催 第50回大分県ろうあ者福祉大会で感謝状受賞

食事会の記念品として、7月21日聴覚障害者センターにおいて、企画部長の梅崎さん指導の下、水引作りに取り組みました。皆さんはじめての作業に四苦八苦！お互いに「ここはこうよね～」とわいわい話しながら、楽しく作ることができました。

この日作ったのは水引の飾りの部分のみ。できあがった水引に金具などの部品をつける作業は梅崎さんにおまかせ・・・
素敵な記念品をお届けできました。



おめでとう
あわじ結び



記念品の紹介



水引の「ソーシユ」
とても華やかで素敵

この日使用した水引は、梅崎さんこだわりの品々。わざわざ京都や長野から取り寄せているそうです。ラメ入りや金銀、マットな感じなどたくさんの種類があって、選ぶのも楽しかったです。水引ということで、使用する数は3本から5本と奇数(割り切れない数)だとか。奥が深いんですね。

編集後記

今回は、「陽ざしの会」設立30周年記念食事会を中心とした、特集号です。
食事会は、初期メンバーによる苦労話なども聞け、意義のあったイベントでした。
転居された先でサークルを立ち上げた方、別のボランティアをされている方などたくさんいらっしゃり、精力的に様々な活動に取り組まれているお話に元気付けられました。
この編集作業時、30年も続いているサークルの歴史の1ページに参加できたような気分になりました。

(山口 智子)

(※ぶん「梅は創刊以来続いている会員のエッセイです。)

「陽ざしの会」命名の由来は、太陽のようにあたたかくという願いを込めてとなっておりますが、実はもう一つあったような気がします。
それは「一隅を照らす人(陽)でありたい」です。天台宗を開いた最澄の「一隅を照らす者、これ、国の宝なり」という言葉からヒントを得たのか、あるいは、世の中のため人のためになるよう努力することであたたかい思いやりの心が広がっていくことを指すのか。
私自身は、中途失聴・難聴者が「ここにいる」ことを何としても世の中の人たちに知らせたい、その手助けがしたいと解釈していました。
「陽ざしの会を頼むね」と言った諸先輩のことばが今、痛いほどわかります。
要約筆記を始めようと思った原点に今こそ戻ってほしい。
どんな世の中になっても、私たちが必要とする人はまだまだいます。
陽ざしの会をこれからも灯し続けてほしい。
「頼みますね!」

ぶん「梅

灯をともし続けて

池邊 恵子